

第1回みえ現場de県議会を開催

「若者とこれからの地域づくり～聴かせてください!皆さんの声～」

第1回は、「若者とこれからの地域づくり」をテーマに、令和5年11月21日(火)、シンフォニアテクノロジーホール伊勢で開催しました。当日は、「若者とこれからの地域づくり」や「若者の政治への関心を高めるには」について意見交換を行いました。

参加者

- 皇學館大学 現代日本社会学部 学部長・教授 富永 健氏
- 三重県内に居住・通勤・通学している17歳から29歳までの方 22人
- 三重県議会議員(議長、広聴広報会議座長(副議長)、広聴広報会議委員、総務地域連携交通常任委員長) 12人

若者とこれからの地域づくりについて

仕事で学生の就職支援担当をしているが、三重県が好きで学生が多く、三重県で働きたい人が多い。しかし働く場所が少なく、就職活動がうまくいかないため都会に出て行ってしまおう人が多く残念。

メリットがないと動かない若者が多いと思う。この先10年20年のビジョンなど、地域がいずれ盛り上がっていくという未来に向けた話を学生にしたほうが、地元に残っていくと思う。

若者が地域づくりに対して「ハードルを感じる」、「そのような場を知らない」ということの根本にあるのは「地域に興味を持ってもらえていない」ことなのだと思う。

若者の政治への関心を高めるには?

昔の選挙はもう少し祭りのような雰囲気だったと本で読んだ。対立候補同士で激論したり、エンタメ性を高めたりしたいと思う。

メリットを示すことが大事だと思う。マニフェストなど出してもらっているが、例えば「交通を便利にします」ではなく、「A地域からB地域までバスを通します」のように、もっと噛み砕いて発信してもらえると良いと思う。

公約などはスケールが大きいものが多くて、自分には関係ないと思ってしまう。小さなことでも吸い上げて議会で提案いただける機会があるといい。

感想

- 議員に親近感が湧いた。よりよい三重県になるのではないかと期待感が持てた。
- 議員の方の意見を気軽な感じで聞くことができ良い機会となった。
- 身近なことの議論ができて楽しかった。

※意見交換の中から主な意見を掲載しています。当日の概要は三重県議会ホームページでご覧いただけます。



みえ現場de県議会

今年度の新しい取り組みを振り返ってみました

食料自給総合対策調査特別委員会



近年の異常気象による農作物の不作や水産資源の減少に加えて、燃油や飼料・肥料等の高騰など、国内の食料供給に対する不安の表面化を受けて、食料自給率の向上に向けた取り組みを調査し、着実に推進させることを急務と捉え、令和5年5月に特別委員会の設置へと至りました。

6月から7月にかけて、県内外の有識者を参考人として招致し、食料自給率向上に向けた課題や方向性について意見交換を行いました。

8月には本県の農林水産部をはじめ、環境生活部や雇用経済部、観光部、教育委員会における「食」に関する取り組みを聞き取りするとともに、9月には県内調査として自治体や農業協同組合を、11月には県外調査として新潟県をそれぞれ訪れ、関係者との意見交換を行いました。

また令和6年2月には、農林水産省の担当職員に対してオンラインによる参考人招致を行い、現在、国で見直しに向けて議論を進めている「食料・農業・農村基本法」の改正ポイントについて意見交換を行いました。

こうした調査・議論を積み重ねて、食料自給率向上に向けた現状と課題を整理し、知事および国に対し提言を行っていきます。

子どもに関する政策討論会議



本県議会では、議長、副議長を始め、議員12名で構成する子どもに関する政策討論会議を令和5年6月に設置し、子どもに関する喫緊の政策課題について、子どもに寄り添った政策立案および政策提言に関する調査と検討を行ってまいりました。

本政策討論会議では、三重県子ども条例の改正に向けた検討のほか、新型コロナウイルス感染症による子どもへの影響や子どもの貧困への対応を中心に、県の関係部局と有識者から聞き取りを行いました。令和5年12月には、令和6年度に向けて早期に対応すべき事項として、不登校状態にある子どもたちに対する支援の充実、学校や地域における体験活動の機会の充実、ならびに学習支援の充実について、知事に申し入れました。

申入れ後も引き続き調査と検討を行い、申入れ事項に加えて、三重県子ども条例の改正、子どもの居場所づくりへの支援、子どもが安全・安心に情報社会を生きるための環境の整備などを内容とする知事に対する提言を行ってまいります。

再生可能エネルギーに関する検討会



本県では、2050年までに県域からの温室効果ガスの排出を実質ゼロとすることを目指し、今後も再生可能エネルギーの導入を推進することとしています。一方で、再生可能エネルギーの導入については、設置から解体までの過程で法令等の環境整備が不十分である場合は環境破壊につながり、持続可能性を損なう恐れがあることが指摘されています。

そこで、本県議会では、議員10名で構成する再生可能エネルギーに関する検討会を令和5年6月に設置し、再生可能エネルギーの導入に関して、調査および検討を行ってまいりました。

本検討会では、太陽光発電や洋上風力発電を中心に、さまざまな観点から調査を行うため、県の関係部局と8名の有識者から聞き取りを行うとともに、山梨県、千葉県および宮城県において県外調査を行い、検討を重ねました。この検討結果として、本県における再生可能エネルギーの現状と課題を整理し、地域との共生が図られた再生可能エネルギーの導入についての報告書ととりまとめました。

報告書の内容については、今後、知事において更なる検討を行っていただく必要があると考えていることから、知事に対し、提言を行ってまいります。

編集後記

若者をはじめ県民の皆さまに県議会への関心を高めていただけたら、広聴広報会議委員の新たな発想で紙面刷新中!

杉本 熊野 座長

興味を持っていただくことが大切。県民の皆さまに発行を楽しみにしていただけるよう今後も研究していきます。

荊原 広樹 委員

政治に無関心でいられても、無関係ではられない。皆さまと県政との距離を縮める一助となるよう活動中。

辻内 裕也 委員

みえ現場de県議会では若者の声を聴くことができました。その声を生かした情報発信に今後も取り組みます。

松浦 慶子 委員

若い人たちの意見を聴けて充実した活動でした。これからも身近な県議会として取り組みます。

東 豊 委員

編集 三重県議会広聴広報会議

- 座長 杉本 熊野(副議長)
委員 荊原 広樹 世古 明 龍神 啓介
辻内 裕也 松浦 慶子 吉田 紋華
中瀬 信之 廣 耕太郎 東 豊

みえ県議会新聞に関するご意見・ご感想をお寄せください

三重県議会事務局 企画法務課

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059-224-2877 FAX 059-229-1931
E-mail gikaik@pref.mie.lg.jp
ホームページ <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

みえ県議会新聞は年に2回発行しています。過去のみえ県議会新聞は、ホームページからご覧いただけます。



議会ホームページ



みえ県議会新聞



議会Facebookページ